



上越市立牧小学校

学校だより

第8号

令和3年度2学期末号

よく考えよく学び、心豊かであぐましい子どもたち



一年の世相を表す「今年の漢字」は、「金」と発表されました。東京五輪で日本人選手が多数の「金」メダルを取ったことや大谷翔平選手が大リーグでMVPを獲得、藤井聡太さんの最年少四冠達成等、各界で「金」字塔を打ち立てたこと等が理由ということです。

さて、二学期は、多くの行事や活動で子どもたちの頑張る姿、成長する姿が見られた学期でした。子どもたちの活躍もまさに「金」メダル級。文化祭や修学旅行、マラソン大会といった学校行事、児童会行事、学級活動等、これらの行事や体験的な活動を通して、子どもたちは学級や縦割り班の仲間と心をつなげて、目標を達成することのすばらしさを体験したことと思います。また、友だちに支

えられたり、支えたりしながら、気持ちがつながっていく経験もしたと思います。行事の成功に向けて取り組む過程（体験）がまさに「学び」であり、そこに行事や活動の価値があります。これらを通して、子どもたちが成長した姿をみるにつけ、行事や体験的な活動は、平素の授業で培う確かな学力とともに、学校教育活動の両輪として大切な役割を果たしていることを改めて実感しました。

おかげ様で令和3年も無事に終わることができました。心よりお礼申し上げますとともに、子どもたち、保護者・地域の皆様、そろって元気で新しい年を迎えられますように、そして新しい年が皆さんにとって素晴らしい年になりますようにお祈りいたします。

2学期の各学年の取組を紹介します。

2学期も教科の学習はもちろん、生活科や総合的な学習の時間等での体験的な学習も保護者・地域の皆様のお力をお借りし充実したものとなりました。

1年生 ウサギのココア君とともに優しい心を育んだ2学期

ウサギの「ココア君」のお世話を一生懸命がんばりました。牧小学校に来たばかりの頃は、あまり餌を食べませんでした。そんな「ココア君」を見守り、無理強いすることなく地道にお世話を続けました。その結果、「ココア君」は、とても元気になり子どもたちにも慣れました。子どもたちの中には、動物に触ることが苦手な子もいましたが、最後には優しく頭を撫でてやることができました。地道な努力と「優しさ」を学んだ2学期でした。



2年生 小さな命の尊さを学んだ2学期

牧小学校周辺には、トンボやバッタ、カナチョロなど様々な生き物がいます。その生き物を飼育・観察する活動を通して、生き物を世話する大変さや、小さな生き物にも大切な命があることを学びました。10月中旬には、大切に飼育していたバッタの産卵を見ることができました。子どもたちは、命のバトンがつながっていくところを見て、より一層生き物を大切にしようとする心情が育ちました。



3・4年生 牧の「すてき」をたくさん見つけた2学期

ブナ林や原ふれあい交流館、木草庵、雪太郎の郷などに行き、「すてき」をたくさん見付けました。地域の方のお話を聞き、質問に答えていただく中で、「牧のいいところを知ってほしい」「牧を守りたい」という思いに気付きました。また、そばの実を石臼でひかせてもらったり、大根を抜かせてもらったりすることで、牧のよさをさらに実感することができました。たくさん見つけた「すてき」をもっと多くの人に伝えたいという思いが高まりました。



5・6年生 企業訪問を通して学びを深めた2学期

修学旅行でメイドイン上越に認定されている2つの企業を訪問しました。創業時からの歴史を聞き、仕事を続けられる上で大切にされていることを学びました。牧区内の企業見学では、横尾木工所さんを訪問しました。木材を加工する工程や最新のレーザー加工技術を見学しました。「牧区で仕事をさせていただいている」という横尾さんのお話から、感謝の気持ちをもって仕事をする事の大切さに気付きました。



たいせつな命を たいせつに生きるために



いじめ見逃しゼロキャラバン隊の金子ボボ様(NAMARA エンターテインメント)を招き講演会を開催しました。「全てできる人はいない」「自分に似ている人はいるが、全部同じ人はいない」「人は何か一つ、他の人にできないことができる」「違うことを嫌がらず、好きになろう」と勇気の出るお話をして

いただきました。講演の合間には、バルーンアートやクイズを芸人さん特有の話術で、爆笑を誘い、子どもたちを魅了しました。芸人になって毎日描いている段ボールアートも見せていただき、自分にしか「できないこと」を尊重する大切さも語っていただきました。

「トトロの森」の皆様と一緒に 本の世界へ



2年振りに「トトロの森」の皆様から「お話会」をしていただきました。1・2年生には、紙芝居「どくのはいったかめ」や絵本「どろぼうがっこう」「さむがりのゆきだるま」の読み聞かせ、ブラックパネルシアター「マッチ売りの少女」と今の季節にピッタリなお話をさせていただきました。3～6年生には、絵本「耳の聞こえないメジャーリーグーウ



ィリアム・ホイ」「大きな木」の読み聞かせ、グリム童話「ラプンツェル」の朗読、1・2年生と同様に「マッチ売りの少女」のパネルシアターをしていただきました。プロジェクターを使ったり、シアタースタイルを用いたり聞き応えのあるお話会で、子どもたちは、本の世界にタププリ浸ることができました。トトロの森の皆様、ありがとうございました。

冬休みに入ります … “親子のふれあい”の絶好の機会

冬休みは、親せきや地域の方々と出会う機会が多いと思います。特に、年末年始は「社会と関わる学習」の絶好の機会といえます。大掃除等の年末年始準備の家事を手伝わせることは、児童に働くことの大切さや喜びを感じ取らせるとともに、家族の一員としての自覚をもたせることにもつながります。また、来客への対応等は、社会性を養う場とも言えます。加えて、冬休みは家族で一緒に過ごす時間も多くなると思います。ただ、一緒に過

ごしていても、子どもだけでゲームをしているというのでは、少し残念な気がします。大人の方から意識して子どもたちに話しかけ、いつもより長く家族での会話を増やしていただければありがたいです。どの子も「自分を認めてほしい」と願っています。それには、家族で会話を楽しむことが一番です。親子のふれあいを十分に深め、心に残る冬休みになることを願っています。

1月の主な予定 (今後変更される場合があります)

7日(金) 3学期始業式

12:40 下校

11日(火) 発育測定

校内書き初め会

13日(木) 委員会

14日(金) 市SC来校

18日(火) 県SC来校

25日(火) 移行学級

28日(金) 市SC来校

今月のことば : つねに前進 つねに一步

坂村 真民